



水泳の授業が始まりました!(プール開き)



5月23日(金)4校時目にプール開きをしました。前日から天気良く、この日も晴天でした。シャワーの水は冷たかったのですが、プールの水は最初は冷たく感じましたが、入ってみると意外と大丈夫でした。1・2年生は小プールで宝探しや輪抜け、渦巻きなどをして楽しみました。3年生以上は大プールでどれだけ泳ぐことができるか、今の段階での記録を取りました。これから約2か月間、水泳の授業や特別練習を積み重ねて、泳力をつけていきます。

大用小学校では水泳授業の安全対策として、高知県教育委員会策定の「小学校の水泳授業における安全管理指針」や四万十市教育委員会からの「小学校の水泳授業における留意事項について」に基づき、水泳授業中の児童の命と安全を守る取組を進めていきます。

救急車の到着まで25分!(救命救急法講習会)



5月23日(金)6校時目に四万十消防署の消防士さんのご指導により、救命救急法講習会を実施しました。講習会には3年生以上の児童17名、保護者7名、教職員7名が参加しました。心肺蘇生法やAEDの使い方を学び、全員が胸骨圧迫の体験をしました。わずかの時間でも結構疲れます。救急車が到着するまでの25分間はこれを続けなければなりません。一人では精度が落ちてくるので、疲れる前に別の人と交替して命を救う行動をしていく必要があります。学びの多い講習会となりました。消防署の方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

【安全対策について】

◎適切な水位とその工夫

大プールでは全ての児童の両肩が水面から出ていることを必ず確認しています。また、プールフロアを3台購入し、1コースの両端と中央に設置しています。

◎泳ぎが得意ではない児童への対応

教職員全員で児童の泳力を情報共有し、泳ぎが得意ではない児童は、プールサイドに近く水深が浅い場所で授業を受けています。また、常に水泳中の児童を見渡し、監視を怠らないようにしています。

◎授業者及び監視者の役割

基本的には全校一斉の水泳授業としています。大プールはプール内に入水2名、監視1名。小プールはプール内に入水1名、監視1名を配置しています。

◎人数確認とパディシステム活用の徹底

事前に入水する児童の人数を把握のうえ、授業者と監視者がそれぞれ授業前、授業中、授業後に人数を確認するほか、パディシステムを活用し児童同士での健康確認を実施しています。また、水泳授業におけるチェックリストを作成し、毎時間記録を取ることにしています。

◎その他の安全対策

- ・緊急時対応マニュアルの作成と教職員での共通理解。
- ・全教員が救命救急法講習を受講済み。
- ・AEDをプールに持参する。
- ・緊急時連絡用として携帯電話をプールに持参する。
- ・毎日の水質管理と水位の調整。

【6月の主な行事予定】

- | | |
|-----------------|---|
| 6月 3日(火) | 読書ボランティアさん来校(読み聞かせ) |
| 6月 5日(木) | 地域交流(片魚・常六へ) |
| 6月 9日(月) | 修学旅行出発式 |
| 6月10日(火) | 酒米の田植え(午後)3年生以上が参加 |
| 6月11日(水)~13日(金) | 修学旅行(広島方面)6年生 |
| 6月19日(木) | 児童総会 |
| 6月20日(金) | 20日交通指導 |
| 6月24日(火) | 3校(利岡・蕨岡)合同社会科見学3・4年生
(下水処理場・クリーンセンター) |
| 6月30日(月) | 租税教室(5・6年生) |